

情報公開用文書（医学部で実施する医学系研究）

（単施設の研究用）

第2段階：先行研究二次分析用

西暦 2017年 7月 27日作成

<p>研究課題名</p>	<p>多剤併用療法を受ける HIV/AIDS 患者の中長期療養生活の構造化</p>
<p>研究の対象</p>	<p>HIV/AIDS との告知後に、本院にて多剤併用療法を受けて1年以上が経過した2011年7月～2012年3月に先行研究である「Experiences of patients with HIV/AIDS receiving mid- and long-term care in Japan: A qualitative study. (邦題：HIV/AIDS 患者の中長期療養体験)」の面接調査を受けた HIV/AIDS 患者さん。</p>
<p>研究目的 ・方法</p>	<p>中長期にわたる多剤併用療法を受ける HIV/AIDS 患者さんが受けた医師や看護師などの医療チームからの医療支援内容と患者の体験から成る HIV/AIDS 患者の中長期療養生活の構造を明らかにします。その結果を踏まえて中長期に療養する HIV/AIDS 患者さんの具体的な看護支援を検討するきっかけを得ることを目的としています。</p> <p>2011年7月～2012年3月に収集した Krippendorff, K の内容分析の方法で分析した下記1)の先行研究のデータをテーマ、カテゴリーを時間の流れで並び替え、分析します。なお、再分析は論文中に掲載があるデータ（逐語、テーマ、カテゴリー、サブカテゴリー）のみを使用します。</p> <p>1) Imazu, Y. et al. (2017) Experiences of patients with HIV/AIDS receiving mid- and long-term care in Japan: A qualitative study, International Journal of Nursing Sciences 4 (2), 99-104.</p>
<p>研究期間</p>	<p>西暦 2017年 9月 1日 ～ 西暦 2019年 8月 31日</p>
<p>研究に用いる 試料・情報の種類</p>	<p>情報：同意書に記載された氏名、生年月日、2011年7月～2012年3月に横浜市立大学附属病院で実施した、HIV/AIDS 患者の中長期療養生活に関する研究で面接調査にご参加頂いた際に得られた面接記録</p> <p>本研究では氏名と生年月日のみ研究参加の辞退が生じた場合、該当する対象患者さんのデータを削除できるように調査票とは別に管理する対応表に記載します。記入済みの対応表、調査票やデータベースは、本研究以外の目的で使用することはなく、研究者以外がアクセスできないようにいたします。</p>
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。</p>	

# 情報公開用文書（医学部で実施する医学系研究）

（単施設の研究用）

第2段階：先行研究二次分析用

問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9

横浜市立大学医学部看護学科 成人看護学Ⅰ・Ⅱ領域 今津陽子

電話番号：045-787-2554 FAX：045-787-2554 e-mail:y\_imazu@yokohama-cu.ac.jp